

探訪 チャレンジ企業 62

光栄流「生産方式」、「標準化」、 「人財育成」で成長 株式会社 光栄：能美市

「事業規模の拡大は求めていません。当社の理想目標である『誇れる企業・立派な企業』の実現に向けてレベルアップを図っていくだけです」と語るのは、今回紹介する能美市の株式会社光栄の坂本典昌社長。

当社は、コマツやニチユ、IHI建機などの下請企業として建設機械や輸送機器のボックスやフレーム、カバーなどの部品加工を手掛け、特に薄物から厚物まで切断、曲げ、溶接、塗装など一貫生産で対応することを特徴とした従業員二十名弱の板金加工メーカーです。

現下の厳しい経済環境の中、独自に構築してきた光栄流「生産方式」、「標準化」、「人財育成」を柱に、ものづくり企業の基盤を整え、更なる飛躍を目指します。



（株）光栄の坂本社長

一 光栄流「生産方式」

光栄流「生産方式」は、生産状況の見える化と在庫を持たないことを目標に、全てを自社内で開発してきた進捗管理システムとトヨタ生産方式を基に考案した「かんばん」を主体とした仕組みです。

進捗管理システムでは、各工程毎に段取着手から加工、検査完了までのデータを端末に入力することで、工場内のどの端末でも進捗や次工程の要求状況、検査履歴などを一目で見ることができ、また蓄積されたデータを基に作業時間短縮の改善などにも活用しています。

もう一つは、トヨタ生産方式を参考に自社の生産形態に合う押し込み型として導入し

た「かんばん」。各工程を一枚のかんばんが回るように工夫したことにより、管理工数のムダを削減し、仕掛品在庫の削減に効果をもたらしました。

二 光栄流「標準化」

社内の基本ルールを標準化・明文化した「光栄マンファイル」を全社員に携帯させ、週一回開催する昼礼を通して徹底・共有化を進めています。

当ファイルには、経営方針、行動規範、生産管理・技術、品質や安全といった項目別に、例えば、「ものづくりで、社会に貢献」といった社是のほか、作業基本手順書や品質保証体系図、整理の基準といった最低限守るべき内容を網羅・分類してファイルングされています。内容は固定的なものではなく、昼礼などで社員の声を基に見直しを行って

三 光栄流「人財育成」

当社では従業員の成長が企業の成長につながるという信念のもと、計画的な育成・評価・報酬の仕組みがあります。その一つが「成長シート」で、一種の目標管理制度といえるもので、光栄マンのあるべき姿を細かな項目に設定し、半年毎に各自がその目標に対して自己と管理者・社長が評価する仕組みで、計画的な育成と評価を行っています。

もう一つが四つの委員会（改善・品質・安全・5S環境）の自主活動です。全ての社員が一年任期で何れかの委員会に所属し、月に一回、就業時間内に委員会を開催し、様々な改善提案を行っていただきます。昨年の改善提案件数は三百件にものぼっています。

こうした取り組みが石川県にも評価され、昨年三月、県内で第一号となる石川県人材育成優良知事表彰を受けるに至っております。

四 エコステージの認証取得

工場の正面上部には「エコステージ認証」という目を引く大きな看板があります。

当社では、環境を視点とした経営管理システムの構築にも取り組み、今年三月、環境経営の導入を支援するエコステージの認証を取得するなど、二十一世紀の大きなテーマに対する取り組みにも余念がありません。



工場正面の様子

りません。

こうした当社の取り組みは、相互関連する「生産方式」、「標準化」、「人財育成」のどれか一つでも中途半端だとバランスを崩してしまいますが、坂本社長のリーダーシップのもと全スタッフが一丸となつて、三位一体で進めてきたことが成功のカギだと言えます。当社に息づく現状に甘えず改善を心掛ける姿勢が続く限り、「光栄流」の更なる深化・進化を促し、今後も企業成長の原動力となつていきます。

（お問い合わせ）

株式会社光栄

〒九三三一一〇四

能美市湯谷町へ六五一一

TEL

〇七六一一五七一一三七三七

（取材・県連合会

経営支援課 西村道博）

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。